

呼吸器センター 内科初期臨床研修プログラム(必修内科)

研修責任者 横村 光司

研修期間 必修期間（4週または8週）、2年次選択期間（4週～）

一般目標(GIO ;General Instruction Objective)

- 1) 呼吸器疾患の基本的診療に必要な知識、技能、診療態度を身につける。
- 2) 緊急を要する呼吸器疾患の初期診療ができる。
- 3) 代表的呼吸器疾患の管理上の要点が理解できる。

行動目標(SBOs ;Structural Behavior Objectives)

- 1) 面接技法を身につける。
- 2) 基本的診療（病歴聴取、身体所見）を習得する。
- 3) 基本的検査の適応、結果の解釈を習得する。（X線検査、採血検査、動脈血ガス分析、肺機能検査、喀痰検査）。
- 4) エビデンスに基づいた診断および治療法を選択できる技術を習得する。
- 5) 専門的検査（胸腔穿刺、気管支鏡検査等）については指導医のもとで実施し、結果を解釈できる。
- 6) 呼吸器内科における代表的疾患を理解し診療できる。

研修方法

病棟担当医

到達目標

代表的な呼吸器疾患の診療技術の獲得

専門医・認定医への道

有り

学会活動

日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本肺癌学会、日本結核・非結核性抗酸菌症学会等
各学会総会、地方会での演題発表、論文投稿

週間予定・抄読会・症例検討会等

- 月曜日；呼吸器内科・外科・放射線治療科合同カンファレンス（17：00）
- 木曜日；呼吸器内科新入院カンファレンス（16:30）

方略および評価

方略

- (1) 面接(研修場所：病棟，外来，救急外来)
患者に対する真摯な面接態度を身につけ、その上で現病歴、家族歴、既往歴、職歴、ペット飼育歴、渡航歴、住居環境などを過不足無く聴取する。
- (2) 理学的所見(研修場所：病棟，外来，救急外来)
病棟，外来，救急外来において、視、打、聴診の技法、簡単な測定器具（パルスオキシメーター、呼気NO測定器ならびにピークフローメーター）の使用法を習得するとともに結果を解釈する。
- (3) 基本的検査(研修場所：病棟，外来，救急外来，画像診断室，臨床検査室)
胸部X線写真，胸部CT写真の読影．各種血液検査の結果の判断．肺機能検査の結果の解釈．
- (4) 専門的検査(研修場所：病棟，外来，救急外来，内視鏡検査室，画像診断室，エコー室)
それぞれの検査に助手として参加する（気管支鏡検査，胸腔穿刺，局所麻酔下胸腔鏡，CT下生検）．
- (5) 基本的診療(研修場所：病棟，外来，救急外来，リハビリ訓練室，エコー室，臨床検査室)
 - 喀痰グラム染色，抗酸菌染色を利用した感染症の診断と治療薬の選択
 - 血液ガス分析に基づいた酸素投与，ハイフローネーザルカヌラ(HFNC)，非侵襲的陽圧換気法(NPPV)，人工呼吸器使用の適応の判断ならびに実施手順の習得

- 肺機能検査に基づいた薬物療法（気管支喘息，COPD）
 - 気管支鏡を利用した呼吸器疾患の診断と治療
 - 理学療法
- （6） 専門的診療(研修場所：病棟，外来，救急外来，内視鏡検査室，画像診断室，エコー室)
- 気管支鏡下挿管
 - 気管支肺泡洗浄
 - びまん性肺疾患の肺生検
 - 肺癌の診断と治療
 - 慢性肺疾患や肺癌のターミナルケア
 - 在宅療法（HOT，NIPPV，HFNC，理学療法）の理解と診療計画
 - 気管切開・血管造影と気管支動脈塞栓術（これらの処置は呼吸器外科や耳鼻科，放射線科等に依頼しているため助手として参加する）
- （7） 経験すべき疾患(研修場所：病棟，外来，救急外来)
- 肺炎（市中，院内）
 - 肺結核，非結核性抗酸菌症
 - 肺癌（診断，化学療法，緩和治療）
 - 気管支喘息の急性増悪
 - COPD の急性増悪
 - 間質性肺炎
 - 肺血栓塞栓症
 - 肺性心 右心不全
 - 膿胸

評価

指導医によりカンファレンス，カルテ記載，実地診療の場に於いて評価を行なう．

* 8 週間研修カリキュラム

肺炎，肺癌，気管支喘息，COPD 等の common disease の中等症以上の症例経験を通し

1. 病歴の聴取ならびに身体所見の取り方を身につける．
2. 呼吸器内科の救急ならびに慢性疾患の病態を理解し，初期治療の計画を立てる．
3. 胸部X線写真ならびに胸部 CT 写真の基本的な読影を身につける．
4. 呼吸器内科診療の基本手技（血液ガス分析，肺機能検査，胸腔穿刺，肺癌の化学療法，喀痰のグラム染色ならびに抗酸菌染色）の修得を目標とする．

* 認定施設

1. 日本呼吸器学会
2. 日本呼吸器内視鏡学会
3. 日本アレルギー学会

* 一定の経験年数の後に取得可能な資格

1. 日本呼吸器学会認定医・指導医
2. 日本呼吸器内視鏡学会認定医・指導医
3. 日本アレルギー学会専門医
4. 日本感染症学会認定医
5. ICD (infection control doctor)
6. 日本化学療法学会抗菌薬臨床試験指導者
7. 日本内科学会専門医

複数月ローテートした際にできること

・2 年次の選択研修時に希望があれば，専門的検査(気管支鏡検査，胸腔穿刺，局所麻酔下胸腔鏡，CT 下生検，等)を複数回行う機会が得られるように担当調整します。